

例会報告



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 遠藤 隆浩
- 幹事 垣内 秀文
- 会報委員長 長瀬 達三

第2599例会 令和元年11月8日
お祝い・IAC委員会担当例会

<会長の時間>

前回、事業承継のお話をしましたが社長を交代しただけでは事業承継は終わりません。組織の長として組織を動かしていけるのかという大きな課題がまっています。今、どの業界も変革期であると思います。固定化した組織では対応がうまくいかないという悩みを抱えている経営者も多いのではないのでしょうか。平常時の組織と変革時の組織では異なるということも考えられます。

よく歴史の中にヒントをみつけよということが言われます。私は司馬遼太郎の「世に棲む日々」という本が好きです。幕末の長州藩が舞台ですが前半は世界をみようとして黒船に乗って当時御禁制だった渡米を実行しようとして処刑された吉田松陰、後半は高杉晋作等松陰の影響を受けたその弟子たちの物語です。幕末の長州藩は大変でした。英国等四ヶ国艦隊に関門海峡を攻められ、そして幕府の長州征伐に遭い本当なら壊滅するところでした。長州藩は300年続いた藩体制があったのですが長年の平和状態でなかなか非常時には対応できずそこで身分をこえた奇兵隊というものを創設しました。正規の兵にたいして奇の兵ということです。医者あがりの西洋兵術を学んだ天才軍師大村益次郎を迎え、最新式のミニエー銃を備え倒幕の原動力になりました。

いつの時代も閉塞した時代を打破してきたのは上にたつもの志と能力ある者の採用、そして最新のテクノロジーの活用です。

<幹事報告>

- ◎RI日本事務局より
 - ・11月のロータリーレートについて 1ドル 108円 (現行どおり)
- ◎ガバナーより
 - ・地区大会における表彰のご案内
 - ①全体会議16:00登壇予定
 - R I表彰2018-2019年度R I会長賞シルバー賞
 - R財団表彰「2018-2019年度ロータリー財団年間協力優秀クラブ賞」
 - ②全体会議16:20登壇予定
 - 濃飛グループ直前ガバナー補佐 内田 幸洋 様 感謝状
 - ・九州北部豪雨災害義援金について 73クラブ 1,881,933円
- ◎ガバナー、地区ロータリー財団部門委員長より
 - ・ポリオ根絶2020新春チャリティコンサートにご協力のお祝い
 - 日時 2020年2月18日(火) 18:15開演会
 - 場所 名古屋電気文化会館 ザ・コンサートホール
 - 協力枚数 6枚以上
- ◎濃飛グループガバナー補佐、高山中央ロータリークラブ会長、IM実行委員長より
 - ・IMご参加の御礼
- ◎高山市スポーツ少年団より
 - ・令和元年度高山市スポーツ少年団大会(助成金贈呈式)ご臨席のお祝い
 - 日時 12月8日(日) 10:30~
 - 会場 飛騨高山ビックアリーナ
- ◎高山市民憲章推進協議会より
 - ・高山市民憲章推進協議会文化講演会の開催について(ご案内)
 - 日時 11月26日(火) 18:30フラワーコンクール表彰式
 - 場所 高山市民会館小ホール
 - 講演 19:00~「生きるって、なに？」 たかの てるこさん

<受贈誌>

高山RC(会報)、高山中央RC(会報)、下呂RC(会報)、美濃加茂RC(会報)、(財)比国育英会バギオ基金(バギオだよりVol.75)、岐阜県環境生活部人権施策推進課長(人権だよりNo79)、中部盲導犬協会(NewHarness22号)

<出席報告>

	出席者数	会員数	出席率
本日	30名	41名	73.17%

<本日のプログラム>

お祝い
◎会員誕生日
(写真左より)

- 田中 晶洋 11. 6
- 住田 泰典 11. 19



◎夫人誕生日(当日ご自宅に花束をお届け)

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 小森 丈一 | 映子 さん | 11. 17 |
| 折茂 謙一 | 佑子 さん | 11. 3 |
| 岡田 贊三 | 芳子 さん | 11. 6 |
| 田近 毅 | 薫 さん | 11. 1 |
| 伊藤 松寿 | 早苗 さん | 11. 20 |
| 阪下 六代 | 恵子 さん | 11. 14 |
| 鴻野 幸泰 | 尚美 さん | 11. 28 |
| 大前 克秀 | 久美子 さん | 11. 8 |

◎結婚記念日



萱垣敬慈、垣内秀文、田中正躬、田中 武、小森丈一、米澤久二、榎坂純一
11.11、11.4、11.29、11.18、11.11、11.20、11.13
(当日欠席) 平 義孝 11.3、下屋 勝比古 11.4、向井 公規11.6

例会報告

◎出席表彰

田中 武

15年

(当日欠席) 下屋勝比古 2年



◎在籍周年記念表彰

ナン

◎3ヶ月表彰

- ・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・垣内 秀文 ・下屋勝比古
- ・杉山 和宏 ・田中 晶洋 ・田中 武 ・松田 康弘
- ・米澤 久二



インターアクト委員会

委員長 新井 典仁

本日は、10月20日(日)に飛騨高山高校がホスト校として、高山西RCがスポンサークラブとして実施いたしました第34回飛騨地区インターアクト合同研修会について、飛騨高山高校インターアクトクラブ顧問の荒川

一弘先生にお越し頂き報告をして頂きます。

なお、本日部長の取替さんについては都合でお越し頂けませんでした。報告文を会報に掲載しますのでご一読ください。

では荒川先生、どうぞよろしくお願ひ致します。

飛騨高山高校

インターアクトクラブ顧問

荒川 一弘 先生

今年度の飛騨地区研修会もひだ信さるぼぼサロン棟にて実施、来賓、ロータリアン、インターアクター、合計48名の参加でした。

講師として二本松康宏先生(静岡文化芸術大学 教授)に「鷹狩りの文化と歴史」という内容で講演していただきました。



以下講演内容です。
・鷹狩りの文化について
鷹狩りの起源は6000年～4000年前の中東と考えられており、1500年前に日本に伝来した。現在は、中東(アラブ、ドバイ等のアラブ首長国連邦が中心)において鷹狩りが盛んに行われている。そのため、鷹狩りは、ヨーロッパでは王侯貴族の趣味やたしなみの一つであり、中東では富裕層の娯楽となっている。また、鷹狩りは国際文化となっているので、文化交流のツールとして機能している。よって、ヨーロッパ、中東との外交では鷹狩りは非常に重要な交流手段である。日本でのゴルフでの接待が、ヨーロッパ・中東では鷹狩り相当するようだ。アラブ首長国連邦、フランス、イタリアなど11カ国が2010年に共同申請し、鷹狩りはユネスコの無形文化遺産として登録された。(2019年現在は18カ国 日本は参加していない。)

日本の鷹狩りの現状は、現在、宮内庁にも鷹匠という職種は存在しているが、千葉県と埼玉県にある鴨場の管理や網を使用した鴨猟を行なっているが、鷹狩りは行われてはいない。秋篠宮殿下は鷹狩りを復活させたいと考えているようだ。日本以外の国はハヤブサ(ファルコン)を使用(射程距離2km)し、日本は、蒼鷹(オオタカ)を使用しているが、神経質、扱いづらく、射程距離100m～200mと短いために日本以外では一般的ではなく、日本の鷹狩りは世界から特殊であると考えられている。

日本以外の鷹狩りは鷹が勝手に狩りに行くため修行の必要がない。昔は鷹を馬で追いかけていたが、今はジープやベントレーなどの高級SUVがその代わりをしている。日本の鷹は射程距離が短いため、鷹匠が近づき、鷹と心をつなぐし、鷹を獲物に向かって放つ行為(羽(あ)合(わ)せ)が必要となり、修行しなければできない人鷹一体の境地を目指している。日本において、現代に継承されていることが確認できる流派は吉田流と諏訪流の二つのみである。

・鷹狩りの歴史について

徳川家康はなぜ鷹狩りを愛好したかに関する通説は以下の3点である。「徳川実記」が拠り所となっている。

- ① 民事視察
- ② 健康法
- ③ 軍事訓練

「徳川実記」

「鷹狩り遊戯の為のみにあらず(中略)山野を奔駆(ほんく)し、身体を労働して、兼(かね)て軍務を調達し給は(たまわ)んとの盛慮(せいりよ)にて」

家康は子供の頃から戦場を駆け回っているため、民の生活を知らないわけがなく、普段から健康に気をつけて、自分で薬まで作った家康が健康法で鷹狩りをするはずがない。徳川家康は一生を通じて実戦ばかりだったので訓練などする暇などないことからまずこの定説を疑うことから日本の鷹狩りにはどのような意味があるのかを歴史的に考察する。日本における鷹狩りの起源は天皇の鷹狩りであり、6世紀には既に鷹狩りが行われていた。平安時代初期には天皇の許可無く鷹狩りは禁止されていた。

『伊勢物語』

「昔、惟喬親王(これたかしんのう)と申す親王おはしましけり。山崎のあなたに、水無瀬といふ所に、宮ありけり。年ごと桜の花盛りには、その宮へなむおはしましける。その時、右馬頭なりける人を、常に率ておはしましけり。時世経て久しくなりにつれば、その人の名忘れにけり。狩りはねむごろにもせで、酒をのみ飲みつつ、やまと歌にかかぬけり。今狩りする交野の渚の家、その院の桜、ことにおもしろし。その木のもとに下りみて、枝を折りてかざしにさして、上、中、下、みな歌詠みけり。馬頭なりける人の詠める。」

「世の中にたえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」

惟喬親王の交野(かたの)の狩りは、鷹狩りであり、水無瀬には天皇の鷹狩り場があった。

鎌倉時代の鷹狩り

「吾妻鏡」によると鎌倉幕府は、7回にわたり鷹狩り禁止令を発令するくらい盛んに鷹狩りが行われていたが、幕府は鷹狩りを管理し、独占したいと考えていた。

徳川時代の鷹狩り

江戸時代初期盛んに鷹狩りが行われていたが、「生類憐れみの令」を命じた六代将軍綱吉が鷹狩りをやめた。しかしながら、八代将軍吉宗は将軍に就任すると正徳6年(1716)直ぐに「鷹狩」を復活させた。江戸時代、鷹に鶴を襲わせていた。鷹は元々自然では、自分より大きな鶴を襲うことないと言われるが、鷹を飼い慣らし、鶴など大型鳥類を襲わせるように調教することが、将軍の権威を見せることになると考えられていた。鶴御成(つるおなり)鷹によって狩られた鶴は天皇に献上されていた。正月のごちそうとして大層なものであったそうだ。

例会報告

日本の稲作は稲穂をくわえた鶴が穂を落とし「白真名鶴（しろまなづる）伝説」が存在し、鶴は稲魂であり、鷹狩りは稲魂が飛び去ってしまわないように大地に留める儀式でもあった。天皇の一番の仕事は稲作であった。したがって、徳川家康は天皇の代理としてこの国を治め、天皇の権威の象徴である鷹狩りを執り行っていたのである（二本松説）。

最後に、鷹狩りが文化に与える影響としては、ヨーロッパは騎士の末裔であるのでファルコンを使つての鷹狩りを好む。ファルコンは一撃離脱でまさにメッサーシュミットなどの飛行機にその文化は伝承され、現在ではメルセデス・ベンツのような重厚でパワフルな車へとそのイメージが伝播している。かたや、日本は武士の末裔であるためにオオタカを使つての鷹狩りを好む文化ができあがった。戦場を縦横無尽に走り回ること美学を求めた。それがゼロ戦に繋がり、現代では軽自動車や新幹線のような軽量で身軽な乗り物を生み出すこととなった。



飛騨高山高校

インターアクト部 部長

取替 結生さん

ロータリークラブの皆様には、様々な形でご支援して頂き、御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

さて、10月20日にあったインターアクトクラブ合同研修会では、準備、会の運営、片付けと大変お世話になりました。ありがとうございました。今回は静岡文化芸術大学の二本松 康宏 先生に「鷹狩の文化と歴史」について教えていただきました。まず大学とは教授、参考書の内容を全て受け入れるのではなく疑うことが大事だと教えて頂きました。高校とは少し変わった考え方だったので新鮮で驚きました。二本松先生の今までの常識を覆す研究をされている姿勢をみて、凄いと思いましたし、とても刺激を受けました。私も大学に行つて色々なことを学びたいと思いました。

鷹狩については、私はあまり知識がなかったので、二本松先生の講演を通して鷹狩の基本的なことから歴史など詳しいところまで知ることができました。最も驚いたことは、鷹狩は世界で有名なものだという事です。日本だけの文化だと思っていたので、鷹狩はもともとアラブから伝わったと聞いた時は驚きました。また、現在、フランス、イタリアなど18ヶ国の鷹狩がユネスコの無形文化遺産に登録されているそうです。残念ながら日本ではまだ登録されていないので、これからもっと鷹狩が普及し、登録されて欲しいと思います。

鷹狩だけでなく、物事の考え方など、様々なことを教えて頂きました。とても濃い講演となりました。本当にありがとうございました。



<ニコニコボックス>

●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

本日は荒川先生、お忙しい中お越しいただき誠にありがとうございます。IAC飛騨地区研修会では講演においてうっかり先生のお名前を忘れてしまいましたが大変興味深いお話をいただきました。改めて勉強させていただきありがとうございます。本日も卓話宜しくお願いします。

●内田 幸洋さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、鴻野 幸泰さん
飛騨高山高校インターアクト部顧問 荒川先生ようこそお越し頂きました。本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

●堺 和信さん、下屋 勝比古さん

本日2020-2021年度理事役員12名を通告させて頂きました。12月6日の年次総会におきましてご承認よろしくお願ひ致します。組織変更により理事の皆様が役割が重大となってきます。また、特別会計からの繰入金に出来るだけ頼らない予算組をするためには、事業の見直しを本年度にお願いしたいと思います。新体制高山西ロータリークラブの活動を円滑にするために、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

●狹土 貞吉さん

今月の「ロータリーの友」に、日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉の、記念館創立50周年の記事が掲載してあります。読んでご理解いただき、天職を高め、米山への寄付へご協力をお願い致します。

●小森 丈一さん

今月も俳壇に採り上げられましたので。

●折茂 謙一さん

11月3日、妻の誕生日に花束をいただきました。有難うございます。

●斎藤 章さん

11月4日に次男に待望の第1子（男の子）が難産の末誕生しました。これで内孫として男の子2人、外孫として女の子2人となりました。無事生まれてきたことに感謝し、末永い幸せを願って。

●遠藤 隆浩さん

私事です。11月28日ひだホテルにて「黄金の道セミナー」を行います。テーマは事業承継です。チラシを配らせて頂きましたので宜しかったらご参加ください。

●塚本 直人さん

本日は長女が17歳の誕生日を迎えることが出来ました。家内の身長も超え、大きく育つことに感謝いたします。ありがとうございます。先日のインターアクト研修会では遠藤会長、垣内幹事、新井委員長にお世話になりました。素晴らしい勉強会でした。お疲れ様でした。本日出張のため早退します。

●岡田 賛三さん、井上 正さん、新井 典仁さん、松田 康弘さん

今日はいい歯の日です。いい歯の日は、「11（いい）8（歯）」の語呂合わせをもとに、1993（平成5）年に、日本歯科医師会によって制定されました。丈夫で健康な歯を保つには、毎日の歯磨きと定期健診を心がけたいものですね！